

第二回國會議決算委員會會議錄 第十三号

昭和二十三年六月十日(木曜日)

午前十時三十分開議

出席委員

委員長 松原 一彦君

理事 富田 照君 理事 竹谷源太郎君

理事 中曾根康弘君

大上 司君

平井 義一君

高橋 靖君

高津 正道君

辻井之助君

田中 健吉君

本日の會議に付した事件

理事の補欠選任の件

國家行政組織法案(内閣提出)(第五七号)

經濟警察廳法案(内閣提出)(第六〇号)

○松原委員長 開会いたします。

お諮りいたします。昨九日理事久保

猛夫君が委員を辞任されました。その

補欠選任をいたすに付きましてお諮り

いたします。前例によつて理事補欠は

委員長から指名することに御異議はご

さいませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○松原委員長 御異議なしと認めま

す。理事には中曾根康弘君をお願い

いたします。

○松原委員長 ただいまからさきに御

審議を願つてあります國家行政組織法

案につき審議を続けたいと存じます。

御質疑の方はお申出ください。

お断りしますが總裁と次長は司令部

の方に行つておりますので、終り次第

かけつけます。

なお昨日田中君からお申出のありま

した菅田首相と吾米地官房長官は、首

相はただいま參議院の本會議で質問が

出しておりますので、それの方へ參つて

おります。終り次第に出ます。また官

房長官は六相會議を今開催中で、主催

者だそうではございませんから、これ

もまた終り次第参るといふことで御承

知おきを願います。

○木村(榮)委員 ちよつとお尋ねしま

すが、第十三條の「各外局の長は、別に

法律で定めるところにより、政令及び

前條第一項に規定する命令以外の規則

その他の特別の命令を自らのすること

ができる。」という、この別の法律で定

めるところによりとなつております

が、これはたとえばどんなふうな場合

を意味しますか、具体的に何か例をあ

が、これはたとえばどんなふうな場合

を意味しますか、具体的に何か例をあ

げて御説明願いたい。

○佐藤(功)政府委員 これはたとえ

ば國家公務員法に人事委員会が内閣總理

大臣の承認を得て規則を制定すること

ができるという規定がございます。そ

れが例の独占禁止法に公正取引委員

会が規則を制定することができるとい

うのがございます。そういうのが実例

であります。

○木村(榮)委員 そういたしますと第

八條と関連性の上において、たとえ

ば「法律の定める所掌事務の範囲内、特

に必要がある、台においては、政令の

定めるところにより、審議會又は協議

会云々、これはたたくさんあるわけ

です、こゝにいたものができた場合に

は、それが外局のようなことになつて、

その委員長といつたものがその法律の

定めるところによつて、またいろいろ

命令を発することができるといつた場

合も起つてくるわけですか。

○佐藤(功)政府委員 この第八條の審

議會又は協議会と申しますのは、その

下に括弧の中にはいってありますよ

うに、諮問的又は調査的なもの等第三

條に規定する委員以外のものを言ひ、

とありまして、その第三條の規定の委

員会といふのは今お話になりました外

局になるわけでございます。その委員

会は、今申しましたように、人事委員

会や、公正取引委員会のように、第十

三條によつて自治的な規則の制定権が

あるわけですが、審議會または協議会

はその委員会とは違つてあります

から、それにはいくらか法律をもつて

たしまして、そういう権能を與える

といふことはできないわけございま

す。

○木村(榮)委員 そうしますとこれは

大体諮問的なもの、または調査的な

の以外には出ないといふことは、括弧

の中で大体規定するわけですね。

○佐藤(功)政府委員 そうです。

○木村(榮)委員 それから第十五條と

第十六條の両方関連性があるわけ

です、特にこれは第十六條の第二項に「前

項の規定による申出は、関係各大臣の

命令、示達その他の行為の効力に影響

を及ぼすものではない。」こゝによつて

お申しますが、これはたとえれば関係各

大臣の命令、示達その他のものが関連

しておつたといふことがあつて発見

された場合には、影響を及ぼさないとい

ふ規定になつておれば、非常におかし

なことになると思つておられますが、

これはどういふ意味になるのですか。

○佐藤(功)政府委員 この第二項の申

出は、これに影響を及ぼすもので

はないとありますのは、この前項の第

一項の内閣總理大臣に地方公共團體の

長が申出する、その申出ただけでは申出

があつたときにただちに何かの影響が

あるといふことではないのだ。その申

出によりましてその次にありますよう

に必要な指示をしたり、適當なる措

置を講じなければならぬわけであり

ますが、その結果その命令や示達が違

法であるとか、地方自治の本旨に反す

るといふようなときには、それによつ

てこれを取消すなり、何なりする措置が講

ぜられるわけでありまして、その申出

があつたといふことだけで、その命令

や示達がストップになるといふこと

ではないといふ意味でございます。

○木村(榮)委員 そのよになつてお

りませんが、これを読んでみますと、そ

の申出を理由があると思つておられ

る、内閣總理大臣は、関係各大臣に対し、

必要な指示をなし、その他適當な措置

を講じなければならぬ。」こゝによつ

ておられるわけですね。その期間が

短期間ならば、むしろあまり影響はな

いかもしれないが、相當の期間ならば、

その長期にわたると仮定したならば、

またほかの方の規定によつて、その指

示されたことをやらなければ、処罰

されるとか何とかがあつて起つて

るとか、あとでいろいろやつてみて、

適當な措置を講じた結果、それが何ら

間違つていなかったといふことにな

れば、かりに処罰された場合に非常にお

かしなことになると思つておられます

が、これはどういふ意味になるのです

か。これは申出があつた後にはまず申出も

理由なしと認めて却下するなり、ある

いは必要な指示をやるか、または適當

の措置をとる。その期間内は、命令、

示達その他の効力が停止してないとい

ふことではないのだ。その申出により

ましてその次にありますよう必要な

指示をしたり、適當なる措置を講じ

なければならぬわけでありまして、

その結果その命令や示達が違法であ

るといふようなときには、それによつ

てこれを取消すなり、何なりする措

置が講ぜられるわけでありまして、

その申出があつたといふことだけで

、その命令や示達がストップになると

いふことではないといふ意味でござ

います。

○木村(榮)委員 そのよになつてお

りませんが、これを読んでみますと、そ

の申出を理由があると思つておられ

る、内閣總理大臣は、関係各大臣に対し、

必要な指示をなし、その他適當な措

置を講じなければならぬ。」こゝによ

つておられるわけですね。その期間が

短期間ならば、むしろあまり影響はな

いうことは、大體理屈に合わぬじやないかと思つたのですが、どういふことになるわけですか。

○佐藤(功)政府委員 それは一つは運用の問題であらうと思つますが、そういう非常に長期にわたりまして、その間にいろいろな行政事務がどん／＼と進行してしまふということは、好ましくないことは仰せの通りであらうと思つます。しかしながら他方この地方公共団体の長が申出た、つまりその命令や示達を受けた場合に、いわばそれが少しおかしいと思つたという理由で、ただちに異議を申立てる。そんなつた場合に、すぐにその命令や示達が実行できなくなつてしまふというやうなことも、また好ましくないというやうなことも言えるだらうと思つたのであります。それでこの法律の上では十應じやないといふことを定めまして、その調節といふことは、一つには運用にまぢたいといふやうに考へてゐるわけでありませう。

○木村(榮)委員 そうすると今のところはこの問題についてはこれを他の方から、何か申出をした場合に、このままでないやうなほかのこれを援護するやうな法律案といふのはないのであつたか。

○佐藤(功)政府委員 それは今はないと存じます。

○木村(榮)委員 それから第二十五條なのですが、「この法律の施行に關し必要な細目は、他に別段の定のある場合を除く外、政令でこれを定める。」となつておりますが、他に別段の定のある場合といふのは具体的な例ではどういふことになるのですか。

○佐藤(功)政府委員 附則でこういう趣旨の規定をおきますことは大抵の場合あるわけでありまして、この法律案の立案にあたりまして、何かそれを実行して行く上に差障りがある場合に備へてこういう規定をおくのが通例であるわけでありませう。しかしながら實際のところを申し上げますと、その後この組織法案に基きまして各省各廳設置法案をつくりつあるわけでありませうが、それをやつてみますと、その設置法案にいわば非常に丁寧な規定をそれぞれおこうというやうな方針を立てまして、どれも共通なやうな事項もそれぞれその設置法案に書こうという方針をとつて仕事を進めてまいりましたわけでありまして、そうやつてみますと、この二十五條に當るやうな政令がどうもないやうなやうに現在はないやうに存じます。最初考へましたときには、たとえば官房の所掌事務というやうなもの、大體文書の発送をいたしましたり、機密を掌りましたり、そういうやうな共通な部分があるわけでありませうので、そういうものを一本共通なものとして政令で書くのはどうだらうかということも考へたのであります。官房の中にも各省各廳によつていろいろの仕事を違つておりまして、それをやはり各省各廳の設置法で少しめんどうではありますが一々詳しく書いた方が丁寧でないだらうかというやうなことで、それも全部一々書くやうにして仕事を進めておるわけでありませう。それで一固めにして政令にするというやうなことはそこでも不必要になりませう。例を挙げて申しますとそういうやうなことを最初考へておつたのであります。現在のところこの二十五條の

政令をどういふものを出そうかということできまつたものはないやうな事情でございます。

○木村(榮)委員 そういたしましたすと、たとえば自作農創設特別措置法の施行規則などは政令でたくさん出ておりますね。むしろ本文より施行規則の方がこのころは長く出ておるやうですが、ああいうやり方で出すということになりますか。

○佐藤(功)政府委員 この組織法は、御承知のように、行政組織の基準を定めたものでありまして、これに基いて各省各廳の設置法が出ます。その各省各廳の設置法は、いわばこの法律を受けそれを具体化したものだといふやうな意味ももつておるわけでありまして、今度はそのに伴ひまして各省各廳の組織令といふやうなものが出るわけでありませう。ゆゑにその組織令が廣い意味ではこの行政組織法の施行をする政令に當るやうな意味ももつてくるわけでありまして、自作農創設特別措置法に對しましてその施行令が出るという同じ關係は、ちやうどこの行政組織法と、その中間に各省各廳の設置法がはいるやうなやうな關係と同一やうなことになるわけでございます。

○木村(榮)委員 そうしますと、各省設置法案以外のものになるわけですか。各省設置法案をつくるためのこれを基礎にした施行規則は出るわけですか。

○佐藤(功)政府委員 この二十五條で頭の中で考へられるやうなものとしたしましては、先ほど申しましたやうな例があげられるわけでありませうが、今お尋ねのほかの法律にくついで出てくるやうな政令が、この組織法については必要ではないのじやないかといふやうなお尋ねだと思つたので、それに當る部分はちやうど組織令がそれに當るのだといふことをお答えしたわけでございます。

○木村(榮)委員 そういたしますと、政令でこれを定めるといふのはおかしいので、法律でこれを定めるといふやうにならなければならぬやうな感じがいたしますが、どうですか。

○佐藤(功)政府委員 今の場合法律で仰せられましたのは、つまりこの組織法が基準を定める法律でありまして、たとへば第三條の三項のやうに、この法律で名前を出しておりますところの府や省や委員会、院や廳についてはそれ／＼別の法律で定めるのだといふことになるわけでありませう。それはこの法律の施行に關し必要な細目といふわけではないわけであつた。それでこの法律の施行に關し必要な細目といふものは、そういう各省の設置法のこゝではないのであります。たとへば先ほど言いましたやうな例が考へられるわけでありませうが、それが現在のところこれとして出そうというやうなものは考へておらないといふわけでございます。

○松原委員長 しばらく休憩いたします。
午前十時五十分休憩

(休憩後は開会に至らなかつた)